

## 衆議院京都4区予定候補

元衆議院議員

## 北神 圭朗

決意表明 きたがみ けいろ [元2]

いつもありがとうございます。お陰様で、皆さんのお支えをいただきながら、元気に活動をつづけています。同志社大学大学院で講師をしながら若者たちと議論をしたり、地域の夏祭りに顔を出したりして、皆さんの思いを聞かせていただいています。

一方で、政治家は、「国民国家のため」と信ずるところを説いてまわることも大事です。今、安保法制をめぐる議論が紛糾しています。野党として、安倍政権の行き過ぎた部分を厳しく指摘し、歯止めをかけることは、もちろん強く期待されています。しかし、本当に信頼を回復するためには、それ以上に、自分たちの国防の考え方も問われています。

かりそめの反対の受け皿になるだけか。それとも、いずれもう一度政権に復帰し、現実的な政策を実行する政党として信頼を回復するのか。

安倍政権が、中東にまで積極的に軍事関与するのは愚策です。新たに敵国をつくる余裕なぞありません。それを米国の議会で軽々しく約束するのは、言語道断です。しかし、我が国に対して、攻勢をかけてくる中国や、常に不穏な動きをする北朝鮮に対して、現実的に抑止力を強化することは「備え」としてやらなければなりません。

我が国の周辺で、各国と連携するために集団的自衛権が必要ならば、それを堂々と主張すべきです。また、それを安易な解釈変更ではなく、国民投票を経た憲法改正の手続きでやるべきことも、あわせて訴えるべきです。

国民は見透かしています。避けて通れません。現実的な国防政策をまとめられない政党は、自民党にお灸をすえるための「お灸」くらいの価値しかありません。私は、政権交代可能な政党として、これまで民主党で汗をかいてきました。初心を忘れずに、もう一度、気張ってまいりますので、皆さんより引き続き応援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## 北神圭朗【略歴】 .....

1967年生まれ、京都大学法学部卒。大蔵省を経て、衆議院議員(2期7年)。野田内閣で経済産業大臣政務官、内閣府大臣政務官、内閣総理大臣補佐官を歴任。同志社大学大学院などで教鞭をとる。家族:妻と娘15歳。特技:剣道(三段)。足の大きさは31cm、愛称はその巨体から「ゴジラ」。

衆

国民国家のため  
「改革のゴジラ」復活。